

2023年9月吉日

関係者各位

2023年度大阪体育学会 研究方法セミナー開催のお知らせ

テーマ：スポーツ・運動の視覚探索行動と視線分析法を学ぶ

企画委員会

秋冷の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

近年、軽い運動が前頭前野の実行機能（目標に向かって行動や意識を制御する能力）を高めることが注目されています。一方、スポーツ・運動のパフォーマンス向上に向けては、視線分析・動作分析を用いたコーチング学研究などが行われています。

これまでバレーボールの連続的な判断が必要な行動において Quiet Eye（対象物への安定した長い注視行動）の必要性について報告されている梅崎さゆり先生（天理大学）をお招きして、視覚探索行動をどのような方法で行われ、その成果に至ったのか紹介いただきます。様々なスポーツ・運動においての手法など、応用の可能性について考える機会にしたいと考えました。今回は、ご参集しやすい方法としてオンラインと対面の両方で開催できればと思います。

下記要領にて開催いたしますので、学会会員はもちろんのこと、非会員の方も多数のご参加をお願い申し上げます。

記

日時： 2023年11月10日（金） 18:00～（およそ90分）

場所： 近畿大学記念会館 測定室(予定)および zoom

〒577-0813 大阪府東大阪市新上小阪3-4

申込〆切： 2023年11月8日（水）まで

申込方法： 以下の申込フォーム URL もしくは QR コードから申込してください。

<https://forms.gle/RFgvLM46wX8sPiLv8>

・申込の際は、参加形式（①対面で参加する ②Zoom で参加する）を選択して申込ください。

・なお、②の zoomURL は後日送付いたします。



講師： 梅崎さゆり先生（天理大学体育学部 准教授）

国際バレーボール連盟公認コーチ（レベルI）日本スポーツ協会公認コーチ

【参考文献ほか】

・梅崎ほか（2020）バレーボールのトスおよびスパイクにおけるレシーバーの視覚探索行動と状況判断，コーチング学研究，34（2）125-137.

・バレーボールの Quiet Eye トレーニングが判断を伴う運動の改善に及ぼす影響（若手研究 B）<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-16K16549/>

・日本コーチング学会 2021 年度学会賞

https://jcoachings.jp/information/interview_umezaki/

問合せ先： 近畿大学 田中ひかる E-mail:hikaru@kindai.ac.jp

以上